

ACCESS

▶ 足柄上病院 TEL: 0465-83-0351



- ・小田急線「新松田駅」から徒歩5分
- ・J R線「松田駅」から徒歩10分

▶ こども医療センター TEL: 045-711-2351



- ・京浜急行線「弘明寺駅」弘明寺口からバス10分
- ・J R線「東戸塚駅」からバス16分、「戸塚駅」からバス30分

▶ 精神医療センター TEL: 045-822-0241



- ・京浜急行線、市営地下鉄線「上大岡駅」からバスと徒歩で23分
- ・京浜急行線、市営地下鉄線「弘明寺駅」弘明寺口からバスと徒歩で15分
- ・J R線「東戸塚駅」からバスと徒歩で15分、「戸塚駅」からバスと徒歩で30分

▶ がんセンター TEL: 045-520-2222



- ・相鉄線「二俣川駅」からバス5分、または徒歩15分
- ・無料送迎バス（二俣川駅との間を往復）

▶ 循環器呼吸器病センター TEL: 045-701-9581



- ・京浜急行線「能見台駅」から徒歩で5分
- ・無料送迎バス（能見台駅との間を往復）

▶ 病院機構本部 TEL: 045-651-1229



- ・みなとみらい線「馬車道駅」から徒歩3分、「日本大通り駅」から徒歩4分
- ・市営地下鉄線「関内駅」から徒歩6分、J R線「関内駅」から徒歩8分



地方独立行政法人
神奈川県立病院機構
 Kanagawa Prefectural Hospital Organization

地方独立行政法人
神奈川県立病院機構
 〒231-0005 神奈川県横浜市中区本町2-22 京阪横浜ビル4階
 TEL: 045-651-1229 (代表)
<https://kanagawa-pho.jp/>
 神奈川県立病院機構



適確な医療を迅速に提供し
健康な社会の実現に寄与します



県民の皆様へ



神奈川県立病院機構（5病院と本部事務局）は、地方独立行政法人法に基づき神奈川県により平成22年度に設立され、現在、第3期中期計画（令和2～6年度）3年目の折り返しの時期を迎えていますが、令和元年12月中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症は、感染力の強いオミクロン型に変異し、第6波として急拡大したうえ、未だに収束が予測できない状況下となっています。

当機構は、昨年1月にがんセンターが「神奈川モデル」重点医療機関協力病院となったことから、5病院すべてが新型コロナ患者の受入医療機関となり、最大123床を確保して新型コロナと闘っていますが、同時に高度・専門医療、地域医療の担い手として、県民の皆さまの生命・健康を守り、県内の医療水準の向上を図るために、医療の提供、支援等を行っています。

がんセンターは、都道府県がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療拠点病院として、県内のがん医療の中心的な役割を担い、治験や多施設との共同研究なども活発に行っています。また、重粒子線治療施設「i-ROCK」を併設し、患者さんの病状や生活の質（QOL）に配慮した包括的治療を行っています。

こども医療センターは、福祉施設を併設した小児専門の総合病院として、小児の高度・専門的医療を提供しています。また、厚生労働省から県内唯一の小児がん拠点病院に指定されているほか、ファミリードッグが常駐する病院として全国的に注目を集めています。

循環器呼吸器病センターは、循環器・呼吸器の専門病院として地域医療に貢献しています。また、間質性肺炎への医療提供に力を入れるとともに、多剤耐性結核対策等総合的な結核医療を行っています。

精神医療センターは、精神科救急医療システムの基幹病院としての役割を担うとともに、思春期医療のほか、ストレスケア医療、依存症医療、医療観察法医療などの高度・専門的精神医療を提供しています。

足柄上病院は、県西地域に位置する中核的総合病院で、地域の医療ニーズに対応した専門医療、救急医療、災害医療、感染症医療などを提供しています。特に各診療の領域を超えた総合診療科の取組を生かした医療の提供を行っています。

神奈川県においては、急速な高齢化や少子化、デジタル化など環境が大きく変化する中で、医療・福祉・介護分野において多くの課題が顕在化しています。当機構はこのような動きに即応した診療体制や危機管理体制を構築するとともに、県内外の医療機関や研究機関等との積極的な協力体制や、質の高い医療人材の確保・育成と臨床研究の推進にも力を入れています。

今後も、県民の皆さまに愛され、信頼される県立病院の使命・役割を果たせるよう職員一丸となって取り組んでまいります。

2022年4月
地方独立行政法人
神奈川県立病院機構
理事長 吉川 伸治

神奈川県立病院機構について



目的

地方独立行政法人神奈川県立病院機構は、神奈川県における保健医療施策として求められる高度・専門医療等の提供、地域医療の支援等を行うことにより、県内医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与することを目的とします。

理念

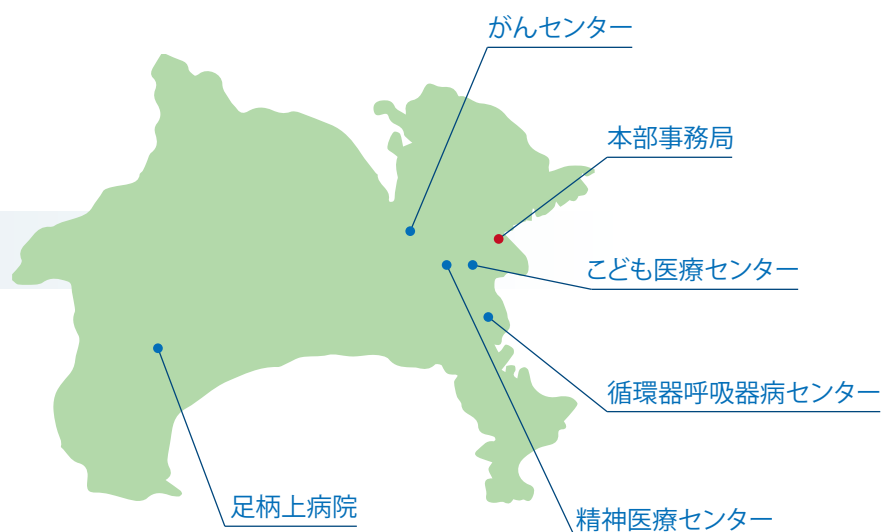
適確な医療を迅速に提供し、健康な社会の実現に寄与します

基本方針

- 患者・住民の視点に立った医療の提供
- 機構と地域との連携によるチーム医療の実現
- 魅力ある職場と安定した経営基盤の確立
- 健康と医療の水準向上を目指した臨床研究の推進
- 医療と医療支援の人材育成
- 患者・住民教育の推進

設立日

平成 22 年 4 月 1 日



沿革

- 平成 22 年 4 月 地方独立行政法人神奈川県立病院機構設立
足柄上病院、こども医療センター、精神医療センター（芹香病院・せりがや病院）、がんセンター、循環器呼吸器病センターを運営



- 平成 23 年 3 月～ 東日本大震災の被災地に職員を派遣
- 平成 24 年 8 月 循環器呼吸器病センターに放射線治療棟を開棟
- 平成 24 年 11 月 精神医療センターに医療観察法病棟を開棟
- 平成 25 年 2 月 足柄上病院が「神奈川 DMAT 指定病院」となる
- 平成 25 年 2 月 こども医療センターが「小児がん拠点病院」に指定される
- 平成 25 年 11 月 がんセンター新病院開設
- 平成 26 年 12 月 精神医療センター新病院開設
- 平成 27 年 12 月 がんセンターで重粒子線治療施設 i-ROCK による治療開始
- 平成 28 年 10 月 足柄上病院に地域包括ケア病棟を開棟
- 平成 30 年 3 月 がんセンターが「がんゲノム医療連携病院」に指定される



- 平成 30 年 10 月 こども医療センターが「神奈川県アレルギー疾患医療拠点病院」に選定される
- 平成 31 年 4 月 精神医療センターが「神奈川県依存症治療拠点機関」に選定される
- 令和元年 9 月 がんセンターが「がんゲノム医療拠点病院」に指定される
- 令和 2 年 4 月 精神医療センターが「神奈川県災害拠点精神科病院」に指定される
- 令和 3 年 3 月 足柄上病院が「地域医療支援病院」に承認される

シンボルマークの意味



神奈川県の「K」をメインモチーフに、水色と青は雄大な神奈川県空と海を、緑は箱根や丹沢に広がる美しい山々とそこに吹く気持ちの良い風を、そして、赤は医療にかかわる人々の強い意志と暖かい心を表現しており、マーク全体で生き生きと神奈川県に暮らす人々の姿を表現しています。神奈川県の豊かな自然の恵みをうけて、県の人々に元気に生活を送ってほしいという願いがこめられています。

高齢者医療と地域包括ケアシステム構築に取り組む総合病院

足柄上病院

▶病院の役割及び機能

足柄上病院は、本県でも高齢化が先行して進む足柄上地域の中核医療機関として、高度専門医療、救急医療、災害医療、感染症医療などを担っています。令和3年3月に「地域医療支援病院」に承認され、地域の医療機関と連携した地域包括ケアシステムの推進、地域医療を支える総合診療医等の人材育成にも努めています。令和2年に開設した内視鏡センターと人工関節センターは、病院の強みを活かした専門外来として、地域の医療ニーズに応えています。

▶診療科

総合診療科（内科）／呼吸器内科／消化器内科／循環器内科／脳神経内科／精神科／外科／脳神経外科／整形外科／形成外科／産婦人科／小児科／眼科／耳鼻いんこう科／泌尿器科／皮膚科／リハビリテーション科／放射線科／歯科口腔外科／麻酔科

▶病床数 296床

▶所在地

〒258-0003 神奈川県足柄上郡松田町松田惣領 866-1
TEL.0465-83-0351



足柄上病院 3号館



320列CT装置



DMAT

福祉施設を併設した、全国屈指の小児総合病院

こども医療センター

▶病院の役割及び機能

こども医療センターは、全国初の福祉施設を併設した小児専門の総合病院、総合周産期施設として、高度・専門医療や緩和ケアの充実を図り、在宅移行支援などを推進しています。さらに、県内唯一の小児がん拠点病院としての役割を果たすとともに、臨床研究機能の充実や人材育成、福祉相談などの組織横断的な対応にも努めています。また、県立横浜南看護学校を併設し、こどもたちが学びながら治療を受けられる施設です。

▶診療科

小児科（総合診療科、救急・集中治療科、血液・腫瘍科、内分泌代謝科、感染症科、遺伝科、新生児科）／アレルギー科／腎臓内科／神経内科／循環器内科／外科／整形外科／リハビリテーション科／形成外科／脳神経外科／心臓血管外科／皮膚科／泌尿器科／眼科／耳鼻いんこう科／放射線科／歯科／麻酔科／病理診断科／児童思春期精神科／内科（母性）／産婦人科

▶病床数 430床

▶所在地

〒232-8555 神奈川県横浜市南区六ツ川 2-138-4
TEL.045-711-2351



こども医療センター 本館



新生児病棟 (NICU)



作業療法

県の中心的役割を担う、精神科医療の専門病院

精神医療センター

▶病院の役割及び機能

精神医療センターは、精神科救急医療システムの基幹病院として充実した救急医療を提供し、地域の医療機関と連携しています。また、依存症、ストレスケア、思春期、医療観察法といった専門的精神医療に加え、平成29年からもの忘れ外来、令和2年から思春期インターネット・ゲーム依存症専門外来を開始しました。さらに、精神医療に関する臨床研究や、神奈川県精神医療の将来を担う人材育成に取り組んでいます。

▶診療科

精神科／放射線科／歯科

▶病床数 323床

▶所在地

〒233-0006 神奈川県横浜市港南区芹が谷 2-5-1
TEL.045-822-0241



精神医療センター 本館



デイケアプログラム



rTMS療法

高度・最新医療を推進する、がん専門病院

がんセンター

▶病院の役割及び機能

がんセンターは、神奈川県におけるがん医療の中核機関（都道府県がん診療連携拠点病院）として、手術、化学療法、放射線治療の高度・専門医療を実施するとともに、がんワクチンセンター、漢方サポートセンター、緩和ケアセンターなど、がん治療の充実強化に取り組んでいます。平成27年12月には、がん専門病院に併設される施設として世界で初めてとなる重粒子線治療施設「i-ROCK」を開設し、患者さん一人ひとりの病状や生活の質(QOL)を考慮した治療を包括的にを行っています。また、「がんゲノム医療拠点病院」として、がん遺伝子パネル検査を実施しています。

▶診療科

循環器内科／糖尿病・内分泌内科／呼吸器内科／呼吸器外科／血液腫瘍内科／消化器内科／消化器外科／精神科／脳神経外科／頭頸部外科／形成外科／皮膚科／乳腺外科／内分泌外科／婦人科／泌尿器科／腫瘍整形外科／放射線診断科／放射線治療科／感染症内科／漢方内科／内科／麻酔科／緩和ケア内科／歯科口腔外科／リハビリテーション科／病理診断科

▶病床数 415床

▶所在地

〒241-8515 神奈川県横浜市旭区中尾 2-3-2
TEL.045-520-2222

最先端の「がん」治療を導入



▶がんセンターの重粒子線治療

平成27年12月、重粒子線治療施設を開設しました。日本では5番目となり、がん専門病院に併設する施設としては世界で初めてです。重粒子線治療は、放射線治療の一種です。従来のエックス線治療に比べて、がんを殺傷する能力が高い一方で、周囲の正常組織への影響が少ないという特長をもつため、一回の照射線量を多くすることができます。すなわち、短期間に副作用の少ない治療が可能となります。



治療室

▶優れた特長を持つ「i-ROCK」

※ i-ROCK は、がんセンターの重粒子線治療施設の略称です。

《最新の治療施設》

最新の照射技術である「高速3次元スキャニング照射法」により治療を行っています。この照射法は、細い重粒子線ビームにより腫瘍を塗りつぶすように照射する新しい技術です。腫瘍の形状に合わせて、腫瘍だけに高い線量を集中させることができ、腫瘍の周りにある正常組織への線量を今までの照射法より低く抑えることができます。また、治療室全室にロボット治療台による自動照合システムやCTを設置しており、より精密な治療を行うことができます。



がんセンター 本館



手術室 放射線治療(リニアック)



重粒子線治療棟

高度先進医療と救急医療を提供する、循環器・呼吸器病の専門病院

循環器呼吸器病センター

▶病院の役割及び機能

循環器呼吸器病センターは、循環器・呼吸器の専門病院として、地域医療の充実に貢献します。循環器疾患、心臓血管疾患や肺がんなどの呼吸器疾患における高度で低侵襲な手術や治療を実施しています。また、結核指定医療機関として結核医療を行っています。心房細動センター、間質性肺炎センター、肺がん包括診療センター、気胸センターや糖尿病サポートチームにより、診療科、看護、薬剤、栄養やリハビリなど部門の枠を超えたチーム医療で、患者さんに質の高い、最適な治療を提供しています。

▶診療科

呼吸器内科／循環器内科／糖尿病・内分泌内科／呼吸器外科／心臓血管外科／放射線科／麻酔科／病理診断科／皮膚科／眼科／耳鼻咽喉科／歯科

▶病床数 239床

▶所在地

〒236-0051 神奈川県横浜市金沢区富岡東 6-16-1
TEL.045-701-9581



循環器呼吸器病センター 中央棟



胸腔鏡下手術



チーム医療